

●過去の白馬会議出講者（第3回～第9回）●（肩書は出講時・敬称略）

第3回 “失われた20年”を脱却せよ！：木村福成（慶應義塾大教授） 藻谷浩介（政策投資銀行参事役） 上杉隆（ジャーナリスト） 石田賢（日本サムソン前顧問） 第4回 再起動せよ！ニッポン：御厨貴（東京大教授） 武者陵治（武者リサーチ代表） 黒田篤郎（経済産業省審議官） 飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長） 第5回 問いつめ直せ！日本の立ち位置：小黒一正（一橋大経済研究所准教授） 田代秀敏（ビジネス・ブレイクスルー大教授） 澤昭裕（経団連・21世紀政策研究所主幹） 水谷翔太（大阪市天王寺区長） 第6回 起死回生！ニッポン：金子隆一（国立社会保障・人口問題研究所副所長） 郭四志（帝京大学経済学部教授） 三輪晴治（ベイサンド・ジャパン社長） 塚越寛（伊那食品工業会長） 第7回 21世紀世界と日本の挑戦：上田清司（埼玉県知事） 斎藤進（三極経済研究所代表） 加藤久和（明治大学教授） 鶴岡秀志（信州大学アライノベーション拠点研究員） 第8回 “戦後70年”後の日本を問う！：武者陵司（武者リサーチ代表） 渡部恒雄（東京財団上席研究員） 金田義行（名古屋大特任教授） 松田公太（参議院議員） 第9回 アジアの中の日本：唱新（福井県立大教授） 小谷哲男（国際問題研究所主任研究員） 渡辺靖（慶應義塾大教授） トラン・ヴァン・トゥ（早稲田大教授）

【参加費用】 1名3万3千円（1泊4食の滞在費及び会議参加料）

※部屋はデラックスツインの1名使用。同室を2名で使用する場合は1名2万9千円。家族同伴の場合についてもファミリースイートの使用を含め割安価格で対応。 ※日帰り参加等、参加形態による費用額調整あり。

【参加定員】 80名。定員になり次第締め切り。

【参加申込方法】 下記コンタクト先の白馬運営委員会宛てに「参加希望」と明示し、氏名・所属・住所・TEL を記してメールまたはFAX。折り返し会議資料・参加費請求書を送付。ホームページからの申し込みも可。

【コンタクト先】 〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘5-3-5-201 白馬会議運営委員会

E-mail : ichi@gb3.so-net.ne.jp http://www.hakubakaigi.com/ TEL : 090-3694-5042 FAX : 042-373-1797



森の中で始まる白熱討議



「シエラリゾート白馬」は最高のコンフェレンス・リゾート



古民家仕立ての露天ヒノキ風呂へ



信州白馬に生まれる
「ダボス会議空間」へ
ようこそ!

第10回 白馬会議

「西のダボス、東の白馬」——白馬会議は学会でも、財界セミナーでも、専門家有識者会合でもない。この会議の醍醐味は、一人一人の“知的個人”がそれぞれの生きざまやバックグラウンド、問題意識を持って北アルプスの麓に集まり、毎年白熱討議を重ねるところにある。(第1回白馬会議開会宣言より)

統一テーマ

超人口減少社会ニッポンの衝撃

—急速かつ大規模な人口縮小・高齢化にどう立ち向かうか？—

日本の人口はわずか50年足らずで現在の1億2000万人台から8000万人台へと、3分2規模にまで縮小し、その4割近くが65歳以上で占められることになる。『日本沈没』をも想起するような衝撃的な環境変動に日本はどう立ち向かっていくのか？ 下記3つのセッションとディナースピーチを軸に今年も「白熱討議」を展開します。

- 第1セッション 「人口減少経済への挑戦—目指すべきフロンティアと戦略的処方箋」 杉浦哲郎氏（日本経済調査協議会専務理事）
- 第2セッション 「“国のかたち”の再構築—47都道府県体制を越えて」 佐々木信夫氏（中央大学経済学部教授）
- 第3セッション 「人生100年時代のライフデザイン—個人・社会・産業」 秋山弘子氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）
- ディナースピーチ 「長寿経営の原理原則—勝ち残る企業創り」 新 将命氏（国際ビジネスブレイン代表取締役）

開催期間 2017年11月25日(土)～26日(日)

開催会場 長野県白馬村「シエラリゾート白馬」

【東京駅から約2時間半】 長野新幹線で長野駅下車、白馬駅直行バス利用
【名古屋駅から約3時間】 松本駅で特急乗り継ぎ白馬駅下車

※詳細は白馬会議HP参照 (http://www.hakubakaigi.com/)

主催 白馬会議運営委員会

協賛 長野銀行
武者リサーチ

後援 長野県経営者協会
『世界経済評論』(国際貿易投資研究所)

超人口減少社会ニッポンの衝撃

—急速かつ大規模な人口縮小・高齢化にどう立ち向かうか?—

第1セッション 「人口減少経済への挑戦——目指すべきフロンティアと戦略的処方箋」

【基調報告者】 杉浦 哲郎 氏（日本経済調査協議会専務理事）

プロフィール● 1954年生まれ。早稲田大学卒。77年富士銀行（現みずほフィナンシャルグループ）入行。ニューヨーク事務所長、経済調査部長、みずほ総合研究所チーフエコノミストを経て、現在、経団連、同友会、日本貿易会等によって60年代に創設された「財界シンクタンク」日本経済調査協議会の専務理事を務める。急速大規模な人口減少に直面して行く日本経済の諸課題を概括したうえで、それでも日本経済には新たな成長フロンティアを目指して行ける潜在的パワーと戦略的処方箋があることを、持論の「日本型イノベーション」論を軸に問題提起する。

第2セッション 「“国のかたち”の再構築——47都道府県体制を越えて」

【基調報告者】 佐々木 信夫 氏（中央大学経済学部教授）

プロフィール● 1948年生まれ。早稲田大学大学院修了。東京都庁企画審議室等で16年間勤務後、法学博士取得（慶應義塾大学）し中央大学教授へ。専門は行政学、地方自治論で政府地方制度調査会委員を務める道州制論の第一人者。明治維新期の廃藩置県断行が人口急拡大時代に備えた「政治革命」であったとすれば、日本が未曾有な人口縮小高齢化時代に突入して行く中で問われる「廃県置州」(47都道府県体制の解体?)は新たな“国のかたち”に向けた「政治革命」となるのか。道州制論に絡む諸問題を総括しながら、壮大なビジョンを現実化させるための具体的提案に挑む。

第3セッション 「人生100年時代のライフデザイン——個人・社会・産業」

【基調報告者】 秋山 弘子 氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

プロフィール● 1978年イリノイ大学でPh.D(心理学)取得、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授を経て、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授へ。アンチエイジングよりも寿命が延びたことによる豊かな生き方としてのアクティブエイジングの方法を学際的に研究するとともに、若年層が多数を占めることを前提にしたかつての社会制度・インフラや産業を超高齢社会に合わせて見直す「ジェロントロジー」のバイオニア的存在。個人の長寿化と社会の高齢化に応じた新たな価値観の創造と社会システムの構築を長年のフィールド研究を踏まえ提案する。

ディナースピーチ 「長寿経営の原理原則——勝ち残る企業創り」

【スピーカー】 新 将命 氏（国際ビジネスブレイン代表取締役）

プロフィール● 1936年生まれ。早稲田大学卒。シェル石油、コカ・コーラ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、フィリップス等の日系法人トップマネジメントを歴任し、「伝説の外資トップ」の異名を取る。「実論」にもとづいた独自のリーダー人材育成論で、傘寿を超えた現在でも日本を代表するビジネスメンターとして活躍。日本企業の平均寿命は20年足らずだが、一方で創業200年以上の「長寿企業」が3900社もある。何故、彼らは企業として勝ち残れたのか？ 松尾芭蕉の「不易流行」からピーター・ドラッカーの「顧客創造」まで言及しながら、長寿企業創りのための“黄金サイクル”をユーモアある独特な語り口で解き明かす。

タイムテーブル

| 時間 | プログラム | 進行 | |
|-----------|------------------------------------|--|---|
| 12:30 | オープニングランチ | ホテルに着きましたら手荷物を持ったまま2階ホールのランチ会場に直行し、お好きなテーブルに着席ください。即、ランチ開始です。サンドイッチを頬張りながらお1人30秒程度の自己紹介をお願いします。 | |
| 13:15 | 第1セッション 「人口減少経済への挑戦」 | 討議スタート。まずは杉浦さんからの基調報告が45分、展開されます。その後、5分ぐらいの簡単なコメント(感想)を頂いたら、テーブルを囲む参加者同士で杉浦報告に関する気楽な意見交換を10分。残り15分は会場と杉浦さんとのQ&Aとなります。質問はくれぐれも簡潔、手短に。 | |
| 14:30 | 第2セッション 「国のかたち”の再構築」 | 第1セッション同様の段取りで第2セッションが佐々木さんの基調報告で始まります。会場には熱いコーヒーや紅茶がセットされますので自由にお飲みいただきながら議論を続けてください。 | |
| 15:45 | チェックイン・タイム | 1階受付デスクで、名札と鍵をもらってチェックイン。お部屋に荷物を置いて、2階ホールへ直ぐにお戻りください。 | |
| 16:00 | 第3セッション 「人生100年時代の ライフ・デザイン」 | 第3セッションが秋山さんの基調報告で始まります。熱中討議が続きますがもうひと頑張り。このセッションの後にはチェロコンサート、カクテルレセプションそしてディナーが待っています。 | |
| 17:15 | チェロコンサート | 信州指折りのチェリスト原香恋さんの素晴らしい演奏をお楽しみください。討議セッションの緊張・興奮を程よく鎮め、まだまだ続く白馬の夜の知的出会いに備えてください。 | |
| 18:15 | カクテルレセプション | セッション会場はディナーの準備に入りますので、階下のレセプションホールに移動、軽いおつまみでワイン、ビールを楽しみながらの歓談タイムとなります。一ロススピーチも大歓迎。 | |
| 19:00 | テーブルディナー | 白馬が誇る国際的名シェフ、ピエール金澤さんによる渾身の本格ディナーが始まります。立食ではありません。じっくり座って天下の美味とお酒、そしてテーブルのお仲間との歓談をエンジョイください。 | |
| 20:30 | ディナースピーチ 「長寿経営の原理原則」 | デザート・コーヒータイムが始まる頃、新さんのディナースピーチ開始です。45分位お話し頂いた後、会場よりどしどしご質問して頂きます。 | |
| 21:30 | 自由 & 交流タイム | ホテル自慢の古民家かけ流し温泉にゆっくりつかれるもよし。レセプションホールや結構広めの自室で参加者同士、語らうもよし。本日の討議をレビューし明日の議論に備えるもよしです。 | |
| 11月26日(日) | 7:00 | 朝食 (この時間帯でご自由に) | 朝食バイキングは和洋超豪華。流れる滝を望むレストランで白馬の秋の味覚をお楽しみください。朝食後チェックアウトを済ませ、手荷物を持ってウエークアップスピーチが始まる2階ホールへ。 |
| | 8:30 | ウエークアップスピーチ | 参加者の皆様の中から5名の方をノミネートさせて頂き、「目が覚めるような(?)とっておきの話」を、それぞれ10分ぐらいずつお話し頂きます。 |
| | 9:30 | クロステーマセッション 「超人口減少社会日本の衝撃」 | さあ今年の白馬会議の総括セッションです。3名の基調報告者とディナースピーカーがお互いのテーマをクロスさせて忌憚のない議論をぶつけ合い、会場からの質問や意見も巻き込んでいきます。参加者一人一人が今年の白馬会議テーマへの自己の思いと実践への道筋を確かめていくクライマックスです。 |
| | 12:00 | クローゼイングランチ | あっという間の白馬時間がエンディングを迎えます。知力・気力充実。ピエール金澤さんはなむけのランチで腹ごしらえをし、「明日からの現場」へ全員COMEBACKです。アンケート記入もお忘れなく! |
| | 13:00 | 解散 | 部屋のチェックアウトは各自朝食後済ませてください。帰路の時刻表を確かめ、お忘れ物にご注意。では又、来年! |